

# 廃棄物処理施設見学バスツアーについて（平成24年度第3回）

栃木県環境森林部廃棄物対策課

## 1 取組の趣旨

廃棄物処理施設は、産業活動の健全な発展のため必要不可欠な施設ですが、普段県民が目にする機会が少ないこともあり、「迷惑施設」と捉えられることが多い施設です。

そこで、施設の必要性や安全性を説明していくことと共に、県民が廃棄物処理施設を直接見学する機会を提供するために、（財）栃木県環境保全公社と（公社）栃木県産業廃棄物協会と協力し、バスツアーを企画しました。

## 2 ツアーコンセプト

廃棄物がどのように中間処理され、どういった製品に生まれ変わるのか、資源が循環していく様子を通して、廃棄物処理施設の果たす役割を紹介しました。

また、廃棄物を排出する工場での廃棄物の減量化・再資源化の取組も併せて紹介しました。

## 3 実施日

3月2日（土曜日）

## 4 参加者

39名

## 5 見学ルート

9:00 県庁出発

10:15 黒磯文化会館出発

10:30～11:45 カゴメ(株)

【那須塩原市にある飲料品等生産工場、廃棄物の減量化・再資源化の取組を学習】

13:00～14:00 トチホク(株)

【那須塩原市にある木くず等破碎施設を見学】

14:40～15:40 栃木県北アスコン(株)

【那須塩原市にあるがれき類破碎施設、アスファルト合材製造プラントを見学】

16:00 黒磯文化会館到着

17:20 県庁到着



## 6 当日の様子

- ・ 参加者は、施設を熱心に見学するとともに、施設の担当者から廃棄物の処理（リサイクル）方法について説明を受け、廃棄物処理施設に関する知識を深めました。
- ・ 参加者から多くの質問があり、施設側と活発なやり取りがありました。
- ・ アンケートでは、「産廃施設というと迷惑施設というイメージだったが、どの企業の方も親切丁寧で、印象が変わった」「普段見学できない所を見ることができて参考になった」「廃棄物の処理の方法が分かって勉強になった」「また参加したい」等の意見がありました。

## 7 今後について

- ・ 来年度も引き続き開催予定です。
- ・ 詳細は（財）栃木県環境保全公社又は県廃棄物対策課のホームページでお知らせします。

# バスツアー アンケート結果

H25.3.12 廃棄物対策課

○ 参加者:39名      ○有効アンケート回答:39件

Q.1 性別を教えてください。 & Q.2 年代を教えてください。 (単位:名)

男性	女性	~39	40~49	50~59	60~69	70~79	80~
20	19	0	5	4	18	9	3

Q.3 バスツアーをどのように知ったか。

友人に誘われて など

①県・公社 HP	②新聞記事	③県民だより	④掲示された募集案内	⑤その他
3	12	20	0	4

Q.4 参加の理由は。(複数回答あり)

①環境・廃棄物に興味	②産廃施設見たことない	③その他
21	21	0

・企業の取り組み姿勢と努力がうまかつレゼンされていた。  
・会社全体で頑張っている感じがした。

Q.5 カゴメについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他	無回答
36	0	2	0	1

・廃材をよく再生させていることが分かった。  
・現場を見たことが無かったので、視野と知識が広がりました。

Q.6 トキホクについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他	無回答
37	0	1	0	1

・色々再生されていることが分かった。  
・親切にいろいろ教えてもらった。

Q.7 栃木県北アスコンについて

①良かった	②つまらなかった	③どちらでもない	④その他	無回答
32	2	4	0	1

Q.8 今回のバスツアーは、環境や廃棄物を考えるにあたり参考になりましたか。

① 参考になった	② 参考にならなかった	③ どちらでもない	④ その他
37	0	1	1

Q.9 今回のようなバスツアーが開催された場合、また参加してみたいですか。

① 是非参加してみたい	② 参加してみたい	③ どちらでもない	④ 参加しない
27	11	1	0